

## 活動報告

団体名	公益社団法人 青年海外協力協会
活動名	小布施町・長野市北部ボランティアセンターの円滑な運営のための支援活動
活動期間	2019/10/17 ~ 2019/12/22
活動の成果	<p>【活動の目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>被災された地域の一刻も早い復旧・復興への寄与</li> <li>中長期的な支援を視野に、これまで実施してきた災害支援での知見を活用</li> </ul> <p>【活動後の結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>立ち上げ当初より長野市北部 VC のロジをサポートしつつ、ボランティアのニーズマッチングを整え、住民とボランティアの調整を行った。会長及び区長との連携を密に図ることで、最大 1200 名以上のボランティアが参加した日もスムーズにマッチングできた。また日々地域住民と接することで支援の在り方なども忌憚なく話せるようになり、地域住民自らが各住民のニーズを把握したり、重機手配に声を掛け合うなど主体的に取り組んでくれるようになった。</li> <li>ボラセン運営では、他支援団体と連携をとり日々振り返りを行ったことで、多角的な視点で自分たちの支援をみることができ、日々のニーズの変化、支援フェーズの変わり目等を察知し、運営の方向性を即座に軌道修正することができた。</li> <li>当協会の保有していたインカムを導入し、携帯電話でやり取りしていた VC と被災エリアの情報共有が円滑になり、スムーズな運営体制の構築につながった。</li> <li>傾聴活動とあわせ住民の心身状態にも気を配り、同じく被災地域に入っていた NPO 団体と情報交換を行い多方面での協働支援を行うことができた。</li> <li>農ボラ P では、地域住民とともに畑の被害状況やニーズ把握を行い、大人数単位で送られてくるボランティアの調整・コーディネート等を行った。</li> </ul>
寄付者へのメッセージ	<p>この度は皆様からのあたたかいご支援をいただき心より感謝いたしております。皆様からいただいたご寄付を今後も災害復興支援に役立てさせていただきたいと思っております。当協会は海外で人々とともに課題解決に向けて取り組んできた青年海外協力隊 OB を中心とした組織です。青年海外協力隊で培った精神と経験を広く社会に還元していくことを目的としています。被災住民の方々が一刻も早く日常生活を取り戻し、自立した暮らしを迎えられるようサポートを行いました。災害後の対応はもちろん防災面においても、近年の度重なる災害によって今後のニーズは高まっていくと思われます。今回の支援で得た成果と課題を当協会内だけでなく、今後災害支援を行う団体に積極的に伝えていくことも私たちの役割であると感じております。ご支援、誠にありがとうございました。国内外を問わず、支援の輪が益々広まっていくことを願っております</p>

(活動のようす)

